

ボランティアだより岸和田



地域のイベント・ボランティア情報が満載



ポッピー
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティア
センター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
opsol 福祉総合センター 2階
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.
onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会



《エンジェルスマイル》

エンジェルスマイルはダウン症のピアサポートです。

ピアサポートとは同じような立場の人によるサポートです。

私にもダウン症の妹がいますので、同じ境遇の人に話すことで、不安や悩みなどを共有していきたい、寄り添いたいと思っています。

みんなで集まって話ができる時間は必要だと思い、福祉センターを活動拠点として定期的に交流会を開催しております。

私自身妹の笑顔に癒されていて、笑顔って不思議なパワーがあるなと感じています。

たくさんの方に笑顔になって欲しいと思い、この活動を妹と一緒にしていこうと思いました。

(エンジェルスマイル代表 落合)

●たくさんの笑顔

7月14日福祉センターでエンジェルスマイルの交流会が開催されました。

会議室がすっかり様変わりしていました。壁は飾り付けられ、室内には遊び道具など触りたくなるものが並んでいます。明るく楽しそうな雰囲気です。ダウン症の子どもたちと親、そして支援者が集まっています。

部屋に入るのを渋っていたらしい子も入ったらすぐに皆に溶け込んでいます。背伸びして、やっとあごがテーブルに届く幼い子は、探検するように歩き回っています。知らない男性に抱っこしてもらいはしゃいでいる子がいます。

「以前は男の人は全くダメだったんですよ」と話すお母さんは笑顔です。年齢もさまざままで20歳を過ぎた人もいます。黙って座っている二人の表情を見れば穏やかで、落ち着いた時間を共にしているのだらうと思えます。大人になったダウン症者との触れ合いも子どもの将来を考えると大事なひと時です。

(編集委員 川口)



(左)自称社長の妹と(右)代表の姉

発行100号記念

ボランティア・市民活動 トップランナーインタビュー

はじめに

本紙は今回100号を迎えました。

来年はボランティア元年といわれる阪神淡路大震災から30年になります。ボランティアのあり方も、社会そのものもずいぶん変わってきました。ボランティアの高齢化、後継者がいない、一般市民にどう広げるかなど様々な問題があります。

そこで、今号ではボランティアの現状と課題、その解決について特集を組みました。ボランティアにも福祉活動にも長い間深くかかわってきたボランティア連絡会会長の上月さんと市民活動ステーション コラボラ実行委員長の佐藤さんにお話を聴きました。

岸和田市ボランティア連絡会 会長 上月正洋さん

●現状は？

戦後間もないころから貧困はありますが、今も変わらず格差が広がり時代とともに形を変えても続いています。そして新たな問題や課題が生まれてきます。支えているのは福祉です。でも福祉はお金にはならないし、NPOではなかなか食べていけないのが現状です。

無償ボランティアや専門職が育ちにくい環境があります。

●社会教育の視点と学び直し

本来のボランティアの場をどうしたら作っていただけるでしょうか。

私たちには住んでいるところをよくしたいという思いがあります。学ぶことによってそれが形になっていきます。社会教育の場となる公民館・図書館などでの学びもその一つです。

学びの活かし方は人それぞれです。

●中間支援の大きな役割

ボランティアセンターや市民活動サポートセンターのしている仕事を中間支援といいます。地域の実情や課題を知り、人や団体、活動資金をつなぐ専門職です。

中間支援組織が効果的に動くことで、ボランティア市民活動が活発になります。



市民活動ステーション コラボラ 実行委員長 佐藤登志みさん

●コラボラとは？

コラボラは、グループや個人そしてNPOや地域活動団体等、一切の枠を設けず皆が集まり、顔を合わせて情報交換します。そこでお互いにつながり合う市民活動の場です。

「ボランティアサロン」が100回を迎えたのを機会に、「コラボラ」にリニューアルしました。



●現状維持を越えて

長年、熱心に活動をしていると、新しいことに取り組む余裕がなくなることもあります。メンバーが増えず、固定化していくと高齢化の問題に直面します。若い人の加入が少ないグループも多いようです。

一方、子どもに関わる新しいボランティア団体では、若いメンバーが多くいます。そこで、双方に継続可能な活動を目指し、交流のきっかけをつかみたいものです。

長年積み重ねて獲得したスキルと、ネット情報活用やパソコンなどの機器を使いこなしている若い人との融合が現状打破の一助となるのではと思います。

●体験のすすめ

若い時の体験は貴重です。すぐに何かにつながらなくても、心の中に種まきをしたようなものです。

私が福祉の道に進んだのも、学生時代にボランティアの経験があったからだと思います。当時、障がい児と共にキャンプやいろんな催しを計画し、みんなで楽しみました。



第2回ボランティアフェスティバル集合写真

おわりに

中間支援があってこそ、人もグループもつながり、生き生きと活動できます。市民も行政も、地域をよくするため中間支援を支えてください。

●ボランティア未経験の皆さんへ

一度体験してみませんか。ちょっとだけ体験できるメニューも充実してきました。その先には、新しい人の加入を待っているグループもあります。

(編集委員 川口)

車いすユーザーと共に登ろう!! 和泉葛城 登山ボランティアの ご案内

秋、泉州の山、和泉葛城山、澄んだ空気、吹き抜ける風、川の流れ、木々の香り、土のにおい一歩一歩、上へ上へ、近づく頂上、近づくあなたと私の距離。

眼下を見渡す山頂で、ガッツク飯と汁。みんなと行くから楽しい。みんながいるからうれしい。

汗と笑顔と歓声の輪のなかに、あなたもいて欲しい。あなたにいて欲しい。

つれもていこら一、和泉葛城登山!

《第9回》和泉葛城登山

開催日時：2024年10月26日(土) 8:00~18:00

参加費：無料

申込締切：10月15日(火)

申込方法：電話または申込フォーム TEL072-488-7334
(担当:NPO法人自立生活センター・いこら一 宮内)



編集委員募集



本誌の編集委員を募集します。

年3回(4・7・10月)岸和田市内のボランティア・市民活動に関する情報を発信しています。

編集委員は、活動の取材や記事作成、校正など紙面の作成を行います。

ボランティア・市民活動や紙面作成に興味がある方で参加希望される方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。ボランティア・市民活動を現在しているかどうかは問いません。市民目線の情報発信にご参加ください。

問合先 ボランティアセンター 072-430-3366

ボランティア 連絡会総会

令和6年6月22日(土) 14時~16時opsol福祉総合センター大会議室で今年度の総会が開催されました。

第1部総会では、永野耕平市長と藤原亨社協会長よりご挨拶いただき、市役所の関係部長および社協事務局長のご臨席のもと、令和5年度の事業報告・決算ならびに令和6年度の事業計画・予算が参加全グループから承認されました。

第2部では、福祉政策課および自治振興課の両課長にご出席いただき、ボランティア・市民活動に関する懇談会を行いました。

今回の総会から参加されたグループもあり、活動を進めるにあたり課題や今後必要な支援など率直な意見が出され、課長からも積極的な姿勢を伺えるお話をいただきました。

今後もボランティア連絡会として、市役所の関係部局と意見交換を重ね連携を図ることで岸和田市のボランティア・市民活動がもっと取り組みやすく盛り上がるように活動していきます。



編集後記

今年は元日から能登で大きな地震が発生し、以降も地震や大雨、台風と全国各地で大きな被害が発生しています。社協近畿ブロック応援職員の一員として石川県七尾市災害ボランティアセンターへ1週間活動しました。防災・減災には、普段からの備えが大切ですよ、と地域のいろんなところでお話をさせていただきますが、持ち出し品袋を準備されている方は少数派です。これからも地域の防災力を高めていけるようお話していきますので、社協へご依頼ください。

(事務局 藤澤)